



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月27日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5015 URL http://www.bpcastror.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小石 孝之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務経理部長 (氏名)渡辺 克己 (TEL)03(5719)7870
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	6,018	△0.4	1,488	25.2	1,492	23.5	1,012	29.9
28年12月期第2四半期	6,045	△0.7	1,189	5.8	1,209	6.3	779	13.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	44.10	—
28年12月期第2四半期	33.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	14,251	11,274	79.1
28年12月期	15,072	11,753	78.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期11,274百万円 28年12月期11,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	26.00	—	65.00	91.00
29年12月期	—	35.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	36.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,960	△6.6	2,421	△24.3	2,417	△24.4	1,628	△21.8	70.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期2Q	22,975,189株	28年12月期	22,975,189株
29年12月期2Q	17,333株	28年12月期	17,310株
29年12月期2Q	22,957,869株	28年12月期2Q	22,957,964株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 5
(継続企業の前提に関する注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 5
(追加情報)	P. 5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。また、世界景気も緩やかに回復する一方で、英国のEU離脱や米国の政策運営の懸念、北朝鮮の地政学的リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況にあります。

自動車業界におきましては小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車から消費者からの根強い支持を集めておりますが、原油価格の上昇や為替の変動等、経営環境は依然として厳しい状況が継続しております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムエンジンオイル、トランスミッション用オイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当てました。当社の旗艦製品である「カストロールエッジ」ブランドの高品質・高性能面の訴求に加え、今年2月に小売り販売網向けに発売した「カストロールエッジ0W-16」および「カストロールマグナテックハイブリッド0W-16」も順調に拡販を行いました。ディーラー向け専用エンジンオイル、トランスミッションオイル製品においては、引き続き「CO₂ニュートラル」コンセプトを通じ、環境保全への取り組みなども紹介しながら、製品付加価値の訴求に取り組みました。また、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるという特長を持つエンジンシャンプーを中心としたエンジンオイル関連製品の拡販にも、継続して注力いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,018百万円、営業利益は1,488百万円、経常利益は1,492百万円、四半期純利益は1,012百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、13,522百万円(前事業年度末は14,342百万円)となり、820百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金(139百万円の減少)、受取手形及び売掛金(658百万円の減少)、短期貸付金(94百万円の減少)及び未収入金(45百万円の増加)によるものです。(なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。)

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、728百万円(前事業年度末は730百万円)となり、1百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,855百万円(前事業年度末は3,198百万円)となり、343百万円減少いたしました。これは、主に未払金(306百万円の減少)、未払費用(257百万円の増加)、未払法人税等(241百万円の減少)及び賞与引当金(43百万円の減少)によるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、121百万円(前事業年度末は120百万円)となり、0百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、11,274百万円(前事業年度末は11,753百万円)となり、478百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により1,012百万円増加し、剰余金の配当により1,492百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月3日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	205,989	66,282
受取手形及び売掛金	2,471,202	1,812,574
商品及び製品	597,476	590,284
原材料及び貯蔵品	28,161	23,726
前払費用	21,495	36,988
繰延税金資産	253,363	253,363
短期貸付金	10,184,853	10,090,184
未収入金	572,492	618,413
その他	7,781	30,804
流動資産合計	14,342,816	13,522,622
固定資産		
有形固定資産	187,797	167,139
無形固定資産	55,093	42,026
投資その他の資産	487,137	519,832
固定資産合計	730,028	728,998
資産合計	15,072,844	14,251,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	875,300	873,576
未払金	889,482	582,961
未払費用	535,093	792,743
未払法人税等	762,015	520,222
預り金	10,603	9,759
賞与引当金	116,276	72,732
その他	10,002	3,362
流動負債合計	3,198,774	2,855,358
固定負債		
繰延税金負債	97,917	98,566
その他	23,031	22,831
固定負債合計	120,948	121,397
負債合計	3,319,722	2,976,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	8,504,443	8,024,754
自己株式	△6,742	△6,782
株主資本合計	11,738,650	11,258,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,471	15,942
評価・換算差額等合計	14,471	15,942
純資産合計	11,753,121	11,274,864
負債純資産合計	15,072,844	14,251,620

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,045,571	6,018,530
売上原価	2,927,855	2,734,253
売上総利益	3,117,715	3,284,276
販売費及び一般管理費	1,928,137	1,795,410
営業利益	1,189,577	1,488,865
営業外収益		
受取利息	7,387	7,378
受取手数料	5,123	6,873
受取補償金	1,230	1,715
為替差益	17,830	1,675
その他	2,580	1,197
営業外収益合計	34,153	18,840
営業外費用		
売上割引	14,722	15,131
営業外費用合計	14,722	15,131
経常利益	1,209,008	1,492,574
特別損失		
固定資産除却損	—	21
特別退職金	6,367	—
特別損失合計	6,367	21
税引前四半期純利益	1,202,641	1,492,552
法人税等	422,893	479,979
四半期純利益	779,747	1,012,573

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。